トヨタ純正

オート エアピュリファイヤ 取付要領書

はじめに

本書は、**トヨタ　ソアラ**にオート　エアピュリファイヤを取り付ける場合の取付要領について記載してあります。

取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

《適用車種およびキット品番》

適用車種	エア グリル 色	品番	
		本体	アクセサリ アッセンブリ
E-GZ20系(VZ仕様車は除く) E-MZ20系 E-MZ21系	ブラック	88920-24010	88904-24010-01
	ブルー		88904-24010-04
	グレージュ		88904-24010-15

注 1．取り付けには、本体とアクセサリ　アッセンブリのキットが必要です。
2．取り付けに際しては、室内色に合わせてエア　グリル色をお選びください。

取り付けに必要な工具

(1) 自動車用サービス工具
(2) 電気ドリル
(3) カッターナイフ

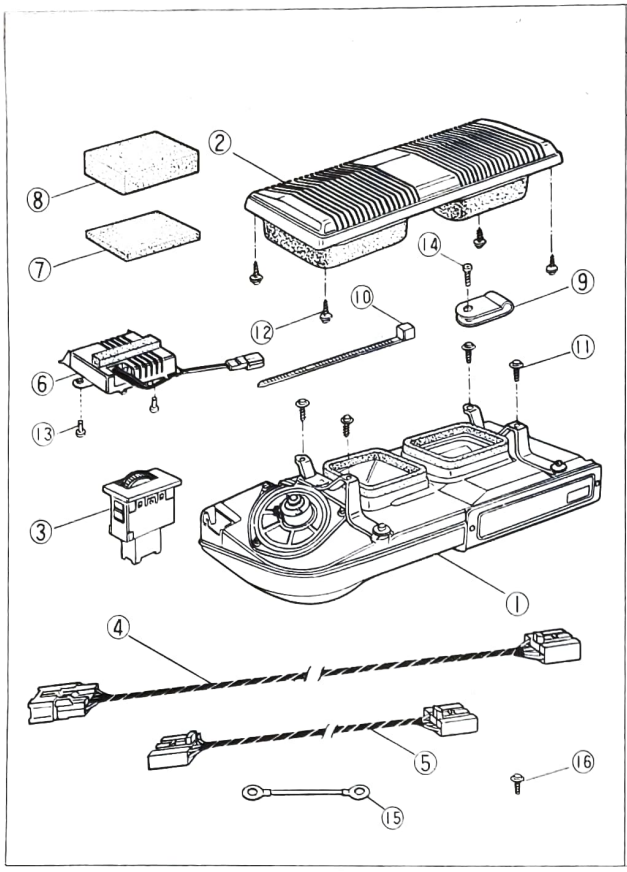
取り付け上の注意

1．本文中の取り付け上の **注意** は、必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。
もし、**注意** を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。

2．車両部品の取りはずしに際して、タッピング　スクリュやボルト、ナット類の紛失や混乱がないように整理して、復元する際に間違えないように配慮してください。また、傷を付けたりしないように取り扱いに注意して作業してください。

トヨタ自動車株式会社
松下電器産業株式会社

全構成部品



図番	品　　名	個数	備　考
1	本体	1	
2	エア グリル	1	3色有り
3	コントロール スイッチ	1	
4	エアピュリファイヤ ハーネスNo.1	1	
5	エアピュリファイヤ ハーネスNo.2	1	
6	スモーク センサ	1	
7	防振パッキン	2	49×80×3
8	シールパッキン	1	50×60×8
9	クランプ	2	
10	バンド	5	
11	ボルト	4	M6×ℓ20
12	タッピングスクリュ	4	φ5×ℓ16
13	タッピングスクリュ	2	φ5×ℓ12
14	タッピングスクリュ	2	φ4×ℓ10
15	アース ハーネス	1	
16	アース ボルト	1	M6×ℓ16

取付要領

注意

バッテリの⊖端子を取りはずしてから作業に取りかかること。

1　車両部品の取りはずし

(1)　後部座席

(2)　リヤ スピーカ グリル（うめ込みタイプスピーカの場合）2個
　　リヤ スピーカ およびリヤ スピーカ ブラケット
　　（ボックスタイプスピーカの場合）2個

(3)　クォータ トリム（右側）

(4)　リヤ パッケージ トレイ

(5)　スカッフ プレート（右側）

(6)　カウルサイド トリム（右側）

(7)　マップランプ

(8)　CPUカバー（トランクルーム内CRT付車のみ）

2　リヤ パッケージ トレイの穴あけ

(1)　リヤ パッケージ トレイ裏面のインシュレータを取り除く。

(2)　リヤ パッケージ トレイの裏面に印刷されている開口ラインにそって、カッターナイフ等で切りぬく。

(3)　エア グリル 取付穴（φ7）を指示マークにしたがって4個あける。

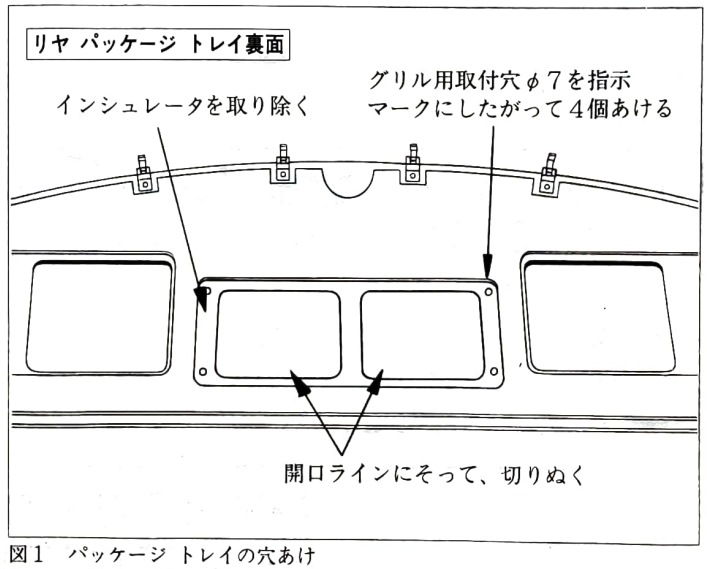


図1　パッケージ トレイの穴あけ

3 エア グリルの取り付け

(1) 先にあけた穴を利用して、エア グリルを取り付ける。

注意

エア グリルは傾斜面が車両前方になるよう取り付けること。

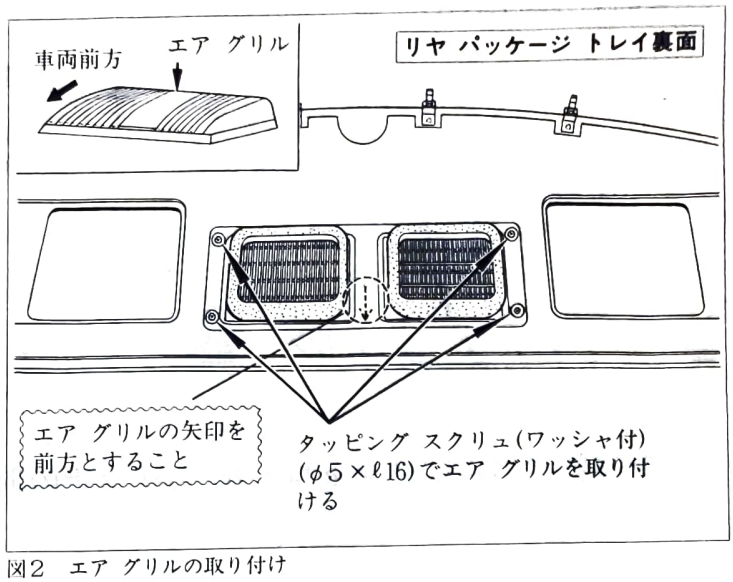


図2 エア グリルの取り付け

4 本体の取り付け

(1) 図3を参照して、本体へエアピュリファイヤ ハーネスNo.2を組み付ける。

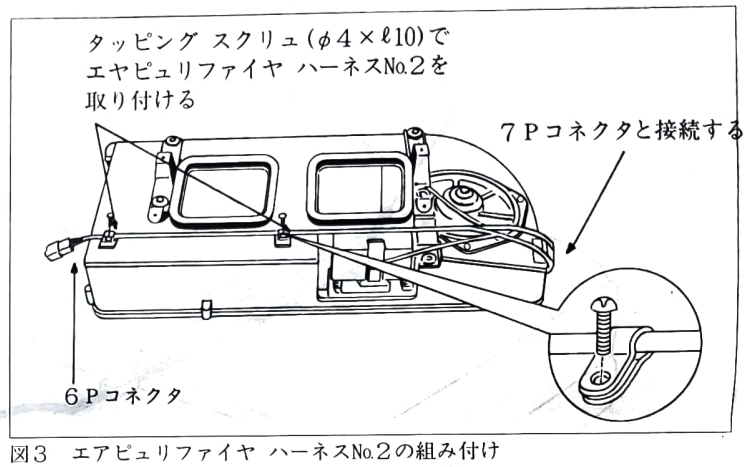


図3 エアピュリファイヤ ハーネスNo.2の組み付け

(2) エアピュリファイヤ ハーネスNo.1を、アッパ バック パネル(スピーカ部穴)を通し、エアピュリファイヤ ハーネスNo.2の6Pコネクタと接続する。

(3) 6Pコネクタに防振パッキンを張る。

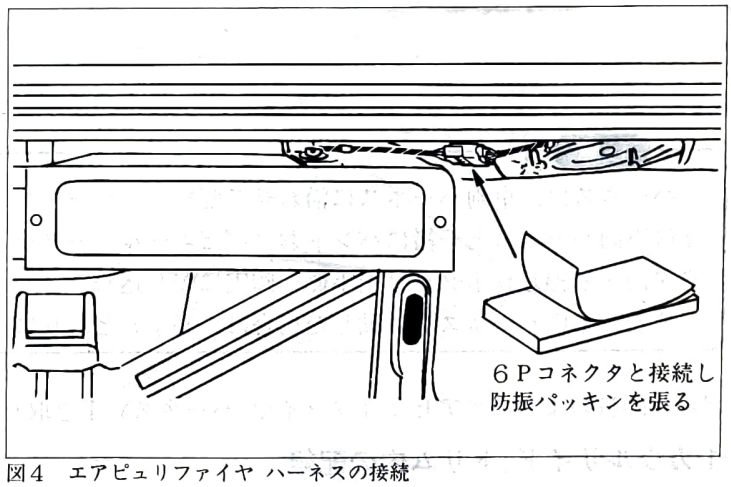


図4 エアピュリファイヤ ハーネスの接続

(4) 本体とアース ハーネスをアッパ バック パネルへボルトで取り付ける。

(5) 左側スピーカ前方のボルトをアース ボルトに変えてアース ハーネスを取り付ける。

注意

本体の取り付けの際、吹出口内にボルトなどを落とすと故障の原因となるので注意すること。

CPUカバー付車は6Pコネクタを奥に収納すること。

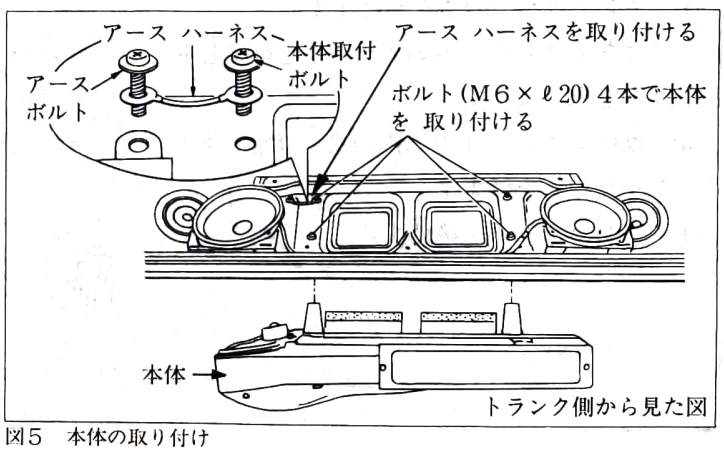


図5 本体の取り付け

(6) CRT搭載車は、CPUカバーを図6のように切断し取り付ける。

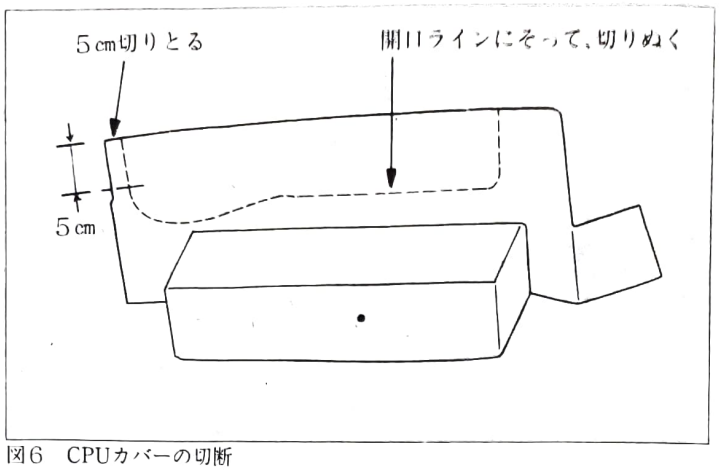


図6　CPUカバーの切断

5　配線作業およびコントロール スイッチの取り付け

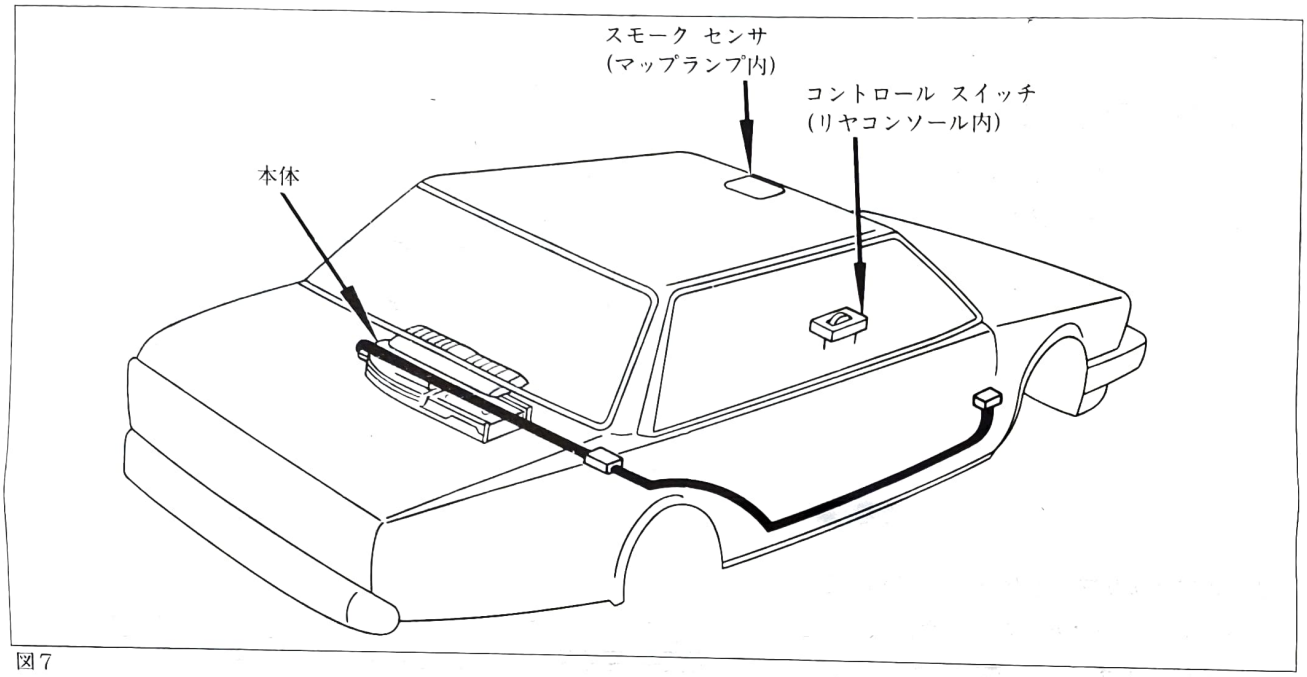


図7

注意

ハーネスは、車両ハーネスに沿わせて配線し、ハーネスのたれ下がりやかみ込み、すれ合いなどがないように車両ハーネスと一緒にバンドおよびビニールテープなどで固定し、プロテクタのある部分は必ずプロテクタ内を配線しコネクタは相手側へ確実に差し込むこと。

また、車両ハーネスを移動した場合は、必ず元どおりにして、他の部品に接触させないこと。

図8～図11のようにエアピュリファイヤ ハーネスNo.1を取りまわす。

(1)カウルサイド トリム内の配線

① アンダカバーのネジをはずす。

② カウルサイド トリムのナットをはずしトリムを取りはずす。

③ カウルサイド トリム内の6Pコネクタのテーピングをはずす。

④ 6Pコネクタを接続する。

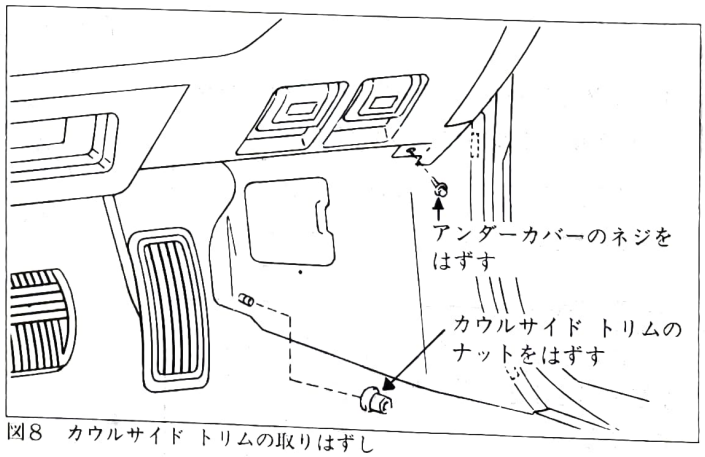


図8　カウルサイド トリムの取りはずし

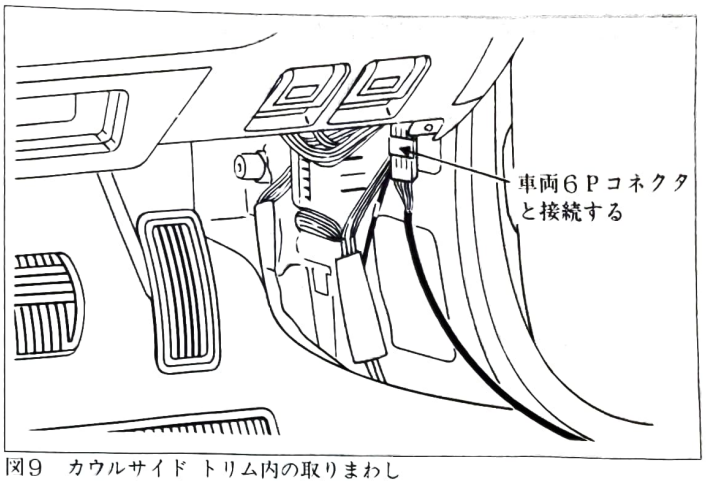


図9　カウルサイド トリム内の取りまわし

(2) 車室内の配線

① エアピュリファイヤ ハーネスNo.１をプロテクタ内の車両ハーネスに沿わせ配線し、収納する。

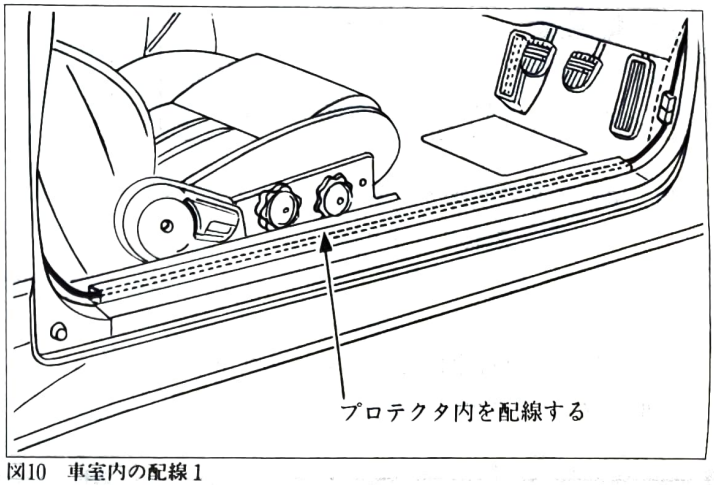


図10　車室内の配線１

② プロテクタを通したエアピュリファイヤハーネスNo.１をホイールアーチ部の車両ハーネスにそわせて配線し、バンドで固定する。

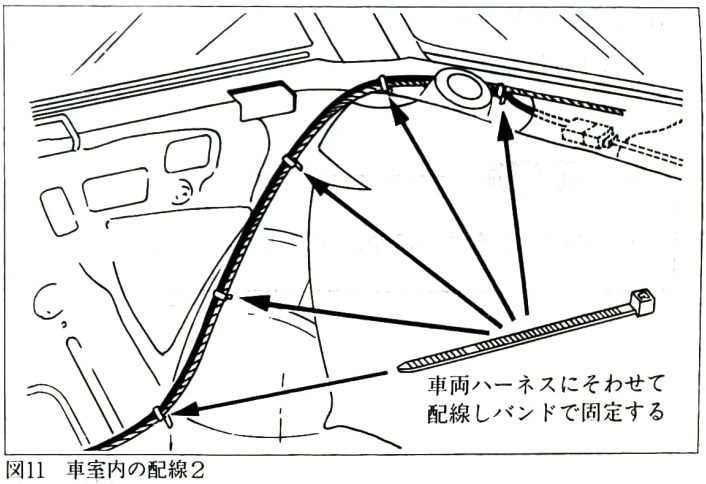


図11　車室内の配線２

(3) コントロール スイッチの取り付け

① リヤ コンソール上のシート スイッチを引き出す。

② リヤ コンソール上の詰栓をはずして、シート スイッチのワイヤーハーネスにテープ止めされている６Ｐコネクタ(青色)とコントロール スイッチを接続し取り付ける。

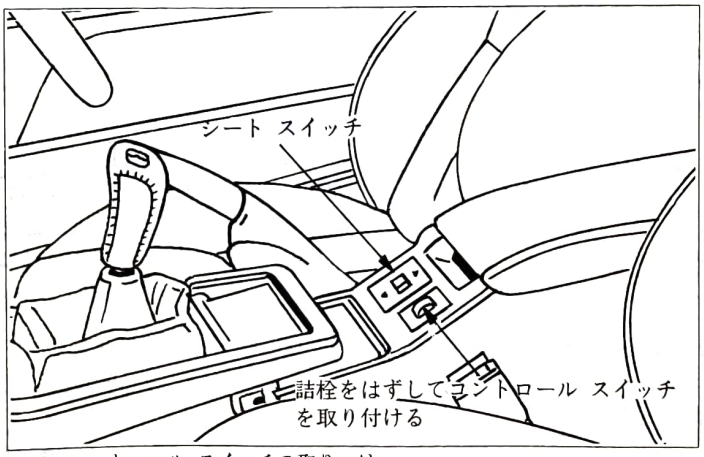


図12　コントロール スイッチの取りつけ

6 スモーク センサの取り付け

(1) シールパッキンの両面テープ離型紙をはがし、スモーク センサに張りつける。

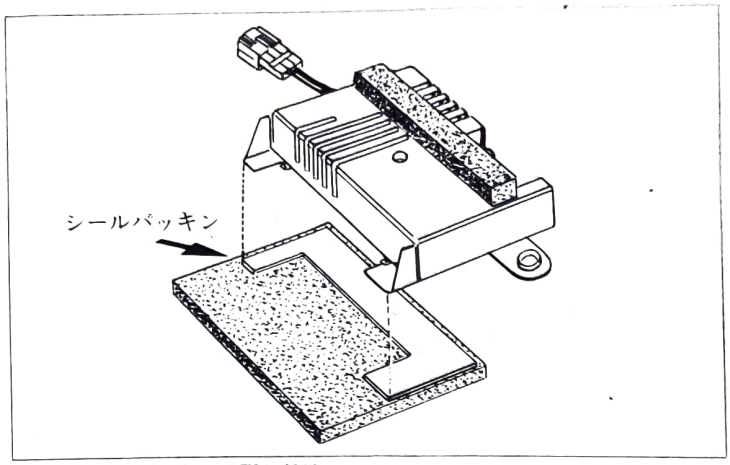


図13 シールパッキンの張り付け

注意

天井内張りを汚さないように、手をきれいに洗ってから、作業を始めること。

(2) マップランプ カバーをはずし、マップランプ ボディを取りはずす。

(3) サンルーフ付車はセンサ ハーネスをサンルーフ モータの奥を通す。

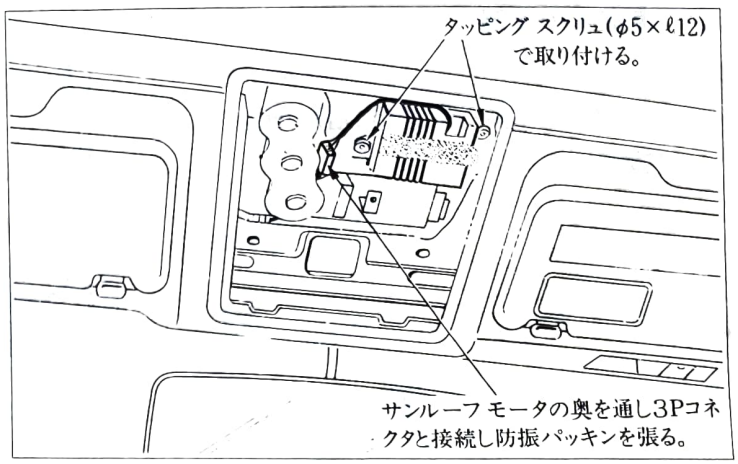


図14 スモークセンサの取り付け (サンルーフ付)

(4) 3Pコネクタを接続し、スモーク センサを取り付ける。

注意

リード線のかみ込みに注意すること。

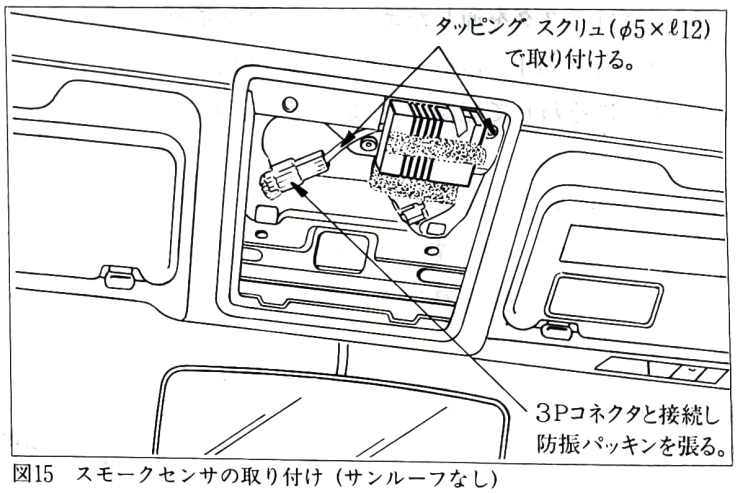


図15 スモークセンサの取り付け (サンルーフなし)

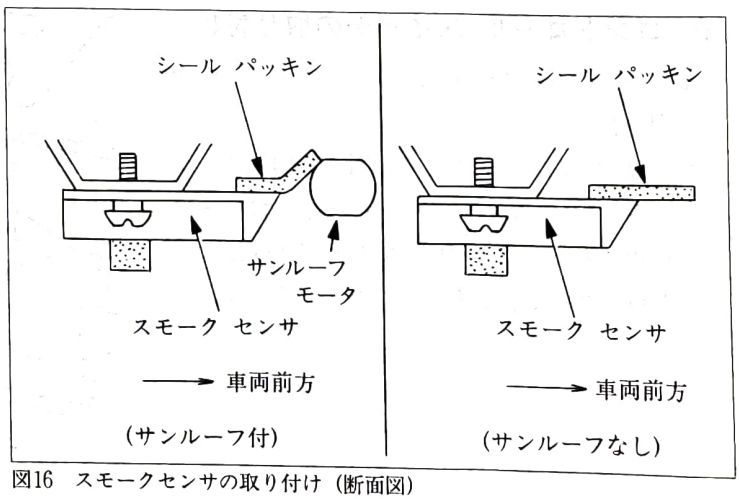


図16 スモークセンサの取り付け (断面図)

取り付け完了後の点検

1 取り付けの確認

(1) 配線や取り付けに異常がないか点検すること。

(2) 特に車両ハーネスやエアピュリファイヤ用ハーネスを無理に押したり、引張ったり、かみ込んだりしていないか点検すること。またクランプのはずれや部品の締め付け忘れはないかもう一度確認すること。

2 作動確認

(1) バッテリの⊖端子を取り付け、エンジンを始動した状態で『**取扱説明書**』の操作要領通りに作動するか確認すること。

手順はまず「HI」および「LO」の作動を確認すること。次に「AUTO」の作動を「内気」「ベント モード」「ヒータ ブロワはLO(またはOFF)」で確認すること。

(2) スモーク センサの作動を点検する時は、タバコの煙をビニール袋に入れて車室内へ持ち込みセンサ部へ流すとよい。また、イグニッション スイッチON後2分以上すぎてから点検すること。

3 復元作業

以上の点検後、取りはずした車両部品を元どおりに取り付ける。

注意

1．復元時に車両およびエアピュリファイヤのハーネスをかみ込んだり車両部品を損傷させないように注意すること。
2．タッピング スクリュの締め付け不良は異音発生の原因になりやすいので注意すること。
3．別冊の『**取扱説明書**』は、必ずお客様に渡すこと。

スモーク センサの感度調整

スモーク センサは、通常0.3mg/m³の煙(タバコ1～3服程度)で作動するよう設定してありますが、ボリュームを回転させることにより感度を変えることができます。

H側……感度が良くなります
L側……感度が鈍くなります

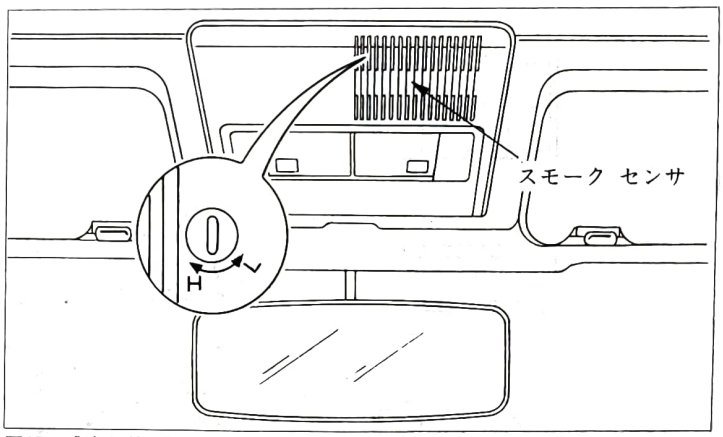


図17 感度調整

自動(オート)時の風量切り替え

コントロール スイッチを「AUTO」にした場合の風量は、コネクタの着脱により変更することができます。

接続……「HI」→「LO」2段制御
分離……「LO」のみ

注意

コネクタを分離した場合はハーネスにテーピングすること

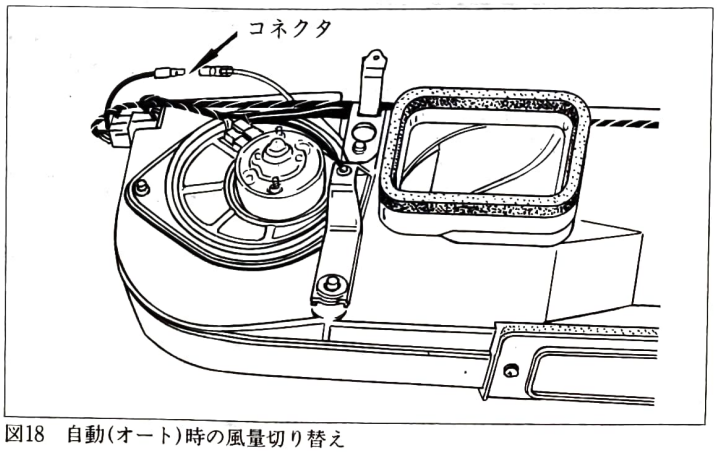
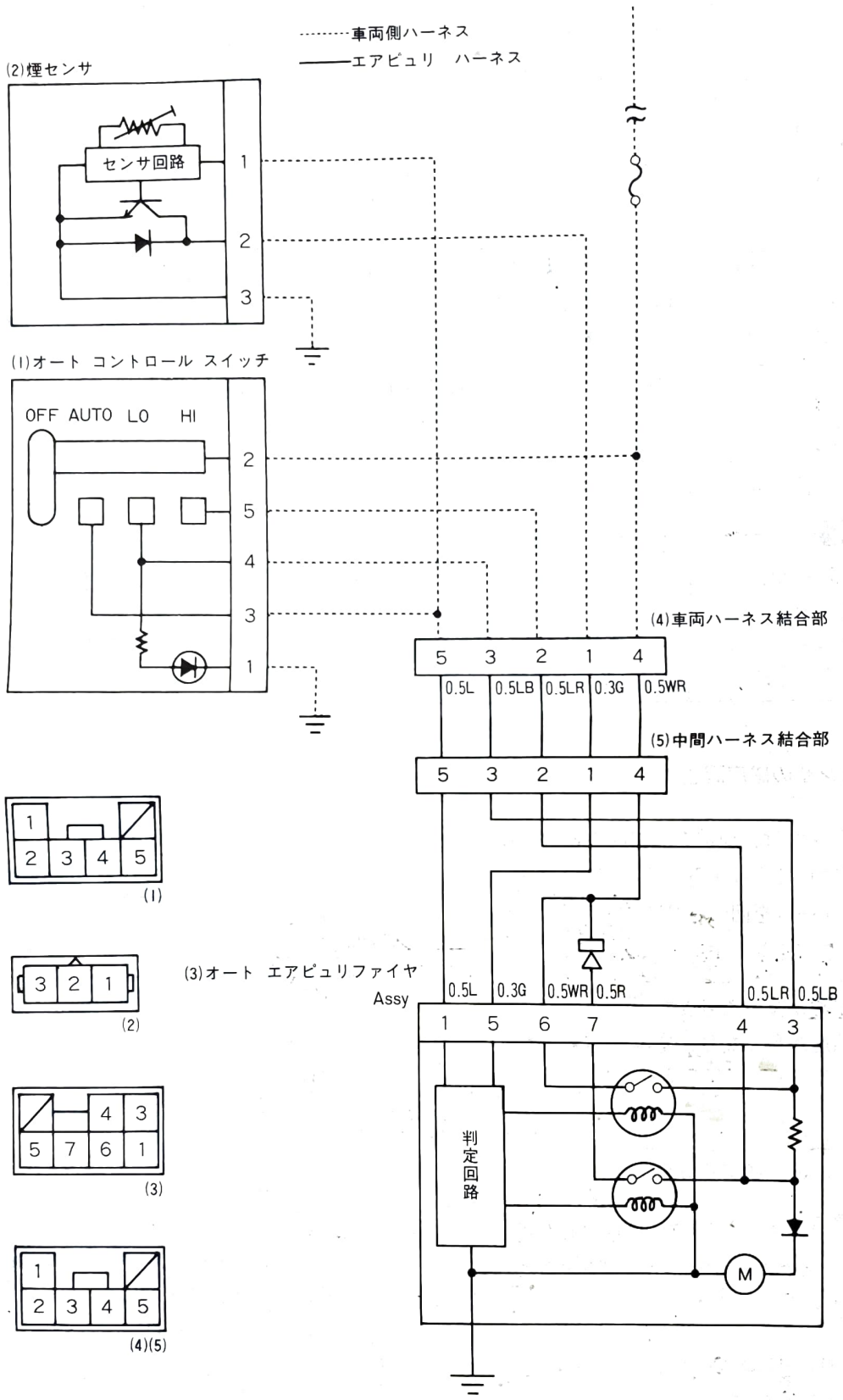


図18 自動(オート)時の風量切り替え

配 線 図


車両側ハーネス
エアピュリ　ハーネス
(2)煙センサ
センサ回路
1
2
3
(1)オート コントロール スイッチ
OFF AUTO LO HI
2
5
4
3
1
(4)車両ハーネス結合部
5 3 2 1 4
0.5L 0.5LB 0.5LR 0.3G 0.5WR
(5)中間ハーネス結合部
5 3 2 1 4
(1)
(2)
(3)オート エアピュリファイヤ
Assy
0.5L 0.3G 0.5WR 0.5R 0.5LR 0.5LB
1 5 6 7 4 3
判定回路
M
(3)
(4)(5)